



2021-22 年度テーマ

第 2670 地区

宿毛ロータリークラブ会報



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

| | |
|-----------|-------|
| ■会長 | 保田 孝司 |
| ■幹事 | 岡崎 利久 |
| ■SAA | 小栗 学 |
| ■クラブ奉仕委員長 | 有田 裕彦 |
| ■職業奉仕委員長 | 池 和明 |
| ■社会奉仕委員長 | 筒井 大八 |
| ■国際奉仕委員長 | 増田 博和 |
| ■青少年奉仕委員長 | 二神 雅彦 |

| | |
|------|---|
| ■例会日 | : 毎週木曜日 12:30~13:30 |
| ■例会場 | : 宿毛市幸町 秋沢ホテル |
| ■事務所 | : 〒788-0003 高知県宿毛市幸町 6-43 |
| | : TEL 0880-63-3416 FAX 0880-63-3417 |
| | : URL http://www.gallery.ne.jp/~sukumorc/ |
| | : E-Mail sukumorc@mb.gallery.ne.jp |

3クラブ合同例会報告 第2734回 令和3年11月17日(水曜日) 天気:晴

- 例会司会: 小栗 SAA
- 開会点鐘: 保田会長
- Rソング: 我等の生業
- お客様: 米山奨学生 フィットリアーニ・スクマ・ワイユ様
カウンセラー 高村禎二様(高知RC)

四つのテスト 言行はこれらに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

米山奨学生を迎えて

宿毛・四万十・中村3RC合同例会

主催クラブ: 中村RC

例会日: 令和3年11月17日(水)

時間: 12時30分~13時30分

会場: 新ロイヤルホテル四万十 2階

例会司会 大杉SAA

会長点鐘 井上会長

開会点鐘 井上会長

会長挨拶 井上会長

■卓話演題

米山奨学生 フィットリアーニ・スクマ・ワイユ様

インドネシア出身 高知工科大学 専攻:基礎工学 博士2年

「インドネシア人留学生の日本観」



皆さんこんにちは。高知RCの奨学生のスクマです。インドネシアからの留学生として日本にどんな印象を持っているかをテーマに話します。

まずは自己紹介、第二にインドネシアの紹介と日本との関係について、第三に私の研究が社会にどのように貢献しているか

について、最後にロータリー米山財団がどのようにして私の夢の実現を助けてくれたかについてです。

私の名前は、スクマ・ワイユ・フィットリアーニです。苗字はありません。インドネシアでは自分の名前に苗字は使いません。出身はインドネシア東ジャワ州バスルワチです。家族は四人です。父・母・兄・私です。年齢は28歳です。現在、高知工科大学の博士三年生です。宗教はイスラム教、趣味は音楽を聴くこととイーゼルを描くことです。特技はガブランを演奏することです。ガブランはインドネシアの伝統的な楽器です。日本と同様インドネシアも島国です。西から東に掛けて13,000以上の島々があり世界最大の島国でもあります。インドネシアの五つの大きな島はスマトラ島、カリマンタン島、スラウェシ島、パプア島、ジャワ島です。インドネシアの人口は日本の二倍、約二億七千万人です。インドネシアには700以上の異なる言語や方言が存在します。インドネシアには400以上の火山があります。日本と同じようにインドネシアでも地震や津波などの自然災害がよく起こります。インドネシアと日本は地理的には似ています。しかし文化面では違いがあります。例えばインドネシアの祝祭日は主に宗教に関係していますが日本の祝祭日は文化に関係しています。教育

分野では制服にも違いがあります。日本は小学校に制服がありませんがインドネシアにはあります。また、赤は小学生、青は中学生、グレーは高校生という風に教育レベルごとに区別されています。朝は日本よりも早く、学校は7時、会社は7時半に始まります。食べ物に関してはインドネシアと日本には共通点があります。両国とも炭水化物に多めに依存しています。インドネシアのもっとも有名な食べ物は世界でもっともおいしい料理として知られるルンダンです。ルンダンは角切りにした牛肉を様々な種類の物、特にココナッツミルクと混ぜ合わせ4時間かけてゆっくりと調理します。また日本の焼き鳥のようなサテや日本の炒飯のようなナシゴレンもあります。熱帯の国であるインドネシアには冷たいデザートが沢山あります。例えばアイスキャンディーです。

インドネシアでもっとも人口の多い島はジャワ島です。ジャワ島の人口は日本より多いです。一億五千万人です。この島は六つの州に分かれており、そのうちの一つが私の出身である東ジャワ州です。東ジャワ州の州都はスラバヤです。



インドネシアと日本の関係は60年前から始まっています。この関係は年々大きくなっており、県や市のレベルでも関係があります。36年前には大阪と東ジャワが姉妹都市になりました。それ以来友好交流を中心に教育、文化、経済の分野で特に関係を築いてきました。

26年前にスラバヤ市は高知市と姉妹都市になりました。スラバヤはジャカルタに次ぐインドネシア第二の都市です。面積は326km²で高知市とほぼ同じ大きさですが人口は300万人と10倍もあります。

スラバヤは二つの動物の名前が混ざって出来たものです。ジャワ語でスラはサメ、バヤはワニです。スラバヤの有名な食べ物は色々あり特別なイベントやお祝いの時にはグドゥを作ります。

2003年からスラバヤでは毎年よさこい祭りが開催されています。この祭りでは高知県のよさこいと東ジャワのレモを行っています。よさこいとレモは何かを音源として使う点では共通しています。よさこいでは鳴子、レモでも楽器を使います。

次に私の出身地について紹介します。スラバヤから車で二時間程のパスルアン出身です。パスルアンは高知市と同様に海や山などの美しい自然に囲まれた田舎に分類されます。その為、パスルアンでは様々な植物が生産されています。リンゴ、マンゴー、ドリアン、サトウキビなどです。また日本企業を含む多くの企業の工場地でもあります。ブラウィジャヤ大学で学士号と修士号を取得しました。修士号の時は芝浦工業大学に三か月間交換留学しました。芝浦工業大学では卒業論文の為の研究を行いました。また日本の文化も学びました。

私の研究テーマはプラズマ工学です。物質の状態には、固体、液体、気体、プラズマの4つがあります。自然界では、オーロラや雷にもプラズマが見られます。農業分野では微生物の汚染除去、保存期間の延長、害虫駆除、毒素の除去などに使用されています。医療分野では創傷治癒、皮膚病治療、癌治療などです。環境分野では廃棄物の処理にプラズマが使用され、有用なガスや材料が生成されます。また、プラズマは人工太陽の開発にも使われています。

卒業したらインドネシア研究機関に入りたいと思っています。ロータリーの奨学金のおかげで研究に集中することが出来ました。さらに、世界と繋がる為の扉を開くことが出来ました。また、カウンセラーの存在にも感謝しています。

日本での経験をインドネシアの改善、特に研究分野に活かしたいと思います。プラズマ研究センターを作り社会に貢献し、他の学生の為のドアを作りたいと思います。

ご清聴ありがとうございました。



■お礼の言葉

宿毛RC 保田孝司会長

スクマ・ワイユ・フィットリアーニさん、本日はありがとうございました。

四万十RC 大平鉄雄会長

スクマ・ワイユ・フィットリアーニさん、本日はありがとうございました。

■出席報告

56.52%